

「千葉市文化財保存活用地域計画」（案）パブリックコメント 意見の概要と市の考え

No.	頁数	項目	意見内容	意見内容に対する市の考え	修正の有無
1	1	序章 (1) 計画作成の背景 1段落目、2段落目	「千葉市には、今から35,000年前の～」→「現千葉市域には、今から～」、「千葉市は、明治時代に入り、」→「現千葉市(当時の千葉町)は、明治時代に入り、」の方が時代の変化を感じやすいと思います。	現在の千葉市を表現するものとして“千葉市”を使っているため、原文のままでと考えております。	無
2	1	序章 (1) 計画作成の背景 7段落目	「近年は、戦後に流入した～」→「近年は、戦後に人口流入した～」が適切ではないでしょうか。	文章構成の観点から原文のままでと考えております。	無
3	1	序章 (2) 計画作成の目的 1段落目	「これまでは、史跡や建造物など個別の文化財に対して、行政や所有者、一部の市民が個々に対症療法的に対応せざるを得ない状況がありました。しかし、市内に多く残る多種多様な文化財を確実に保存・活用していくには、計画的かつ組織的に取り組む必要があります。」と記載があるが、これまでは、国・県・市が指定した文化財であっても、行政や所有者、一部の市民が個々に対症療法的に保存・活用していたという理解でよいでしょうか。	ご指摘の理解で間違いありません。 また、「対症療法的」という表現をよりわかりやすくするため、「これまでは、史跡や建造物など個別の文化財に対して、行政や所有者、一部の市民がそれぞれの状況に合わせて対応を進めてきました。」に変更	有
4	1	序章 (1) 計画作成の背景	「千葉市は35,000年前の旧石器時代までさかのぼる豊かな歴史的背景があります。」とありますが、意外と知られていないと思います。 なぜそうなのか、地理的にも、地形的にも、後背地とするだけでなく、連続した丘陵地、台地として大きな意味を持っていることを、文化への影響を踏まえ、もっと市民に知らせて良いと思います。	いただいたご意見は今後計画の取組を進めるうえで参考とさせていただきます。	無
5	2	序章 (1) 計画作成の目的	「この地域計画は、より多くの市民が、自分の住む地域の歴史や文化財のもつ新たな価値や魅力を知り、これまで以上に文化財への愛着を深め、文化財を守り伝えていく担い手であるという意識を共有することを目指します。」とありました。地域住民の目線を取り入れながら、ぜひ連携が進みますよう、ご指導をお願いします。	いただいたご意見は今後計画の取組を進めるうえで参考とさせていただきます。	無
6	18	第1章「千葉市の概要」 (3) 産業 1行目	「産業別従業者数を見ると～」→「千葉市の令和2(2020)年の産業別従業者数を見ると～」 他の文章に合わせて付記した方がよいと思います。	ご指摘のとおり変更したいと考えております。 「千葉市の令和2(2020)年の産業別従業者数を見ると、」	有

No.	頁数	項目	意見内容	意見内容に対する市の考え	修正の有無
7	20	第1章「千葉市の概要」 (5)市内の博物館、美術館等 展示施設 表	施設名、所在地等を示す表において、No. 及び施設名に横線が無い箇所があります。意図するところがありましたら教えてください。	ご迷惑をおかけしております。市ホームページで公開しているデータを確認したところ、表示倍率の関係で横線が見えないようです。表示倍率を上げると横線が確認できました。	無
8	21	第1章「千葉市の概要」 3歴史的背景	「関東平野は、35,000年前にはじまる旧石器時代の遺跡集中地で、とりわけ千葉市域を含む下総台地は、全国の1割に及ぶ遺跡数を誇ります。下総台地は、日光・足尾山麓と緑区土気町一帯を結ぶ尾根と、房総丘陵から緑区土気町を通して下総台地につながる尾根に野生動物の通り道があります。この2つの道が交差する緑区あすみが丘一帯は狩猟好適地で、旧石器時代の遺跡が特に多く見つかっています。」とあります。このことを1年前に知った時に、ある主の感動を覚えました。これこそが、千葉市の中の丘陵地の遺跡文化の原点であると思います。ぜひ、この地域の古代文化の調査研究の強化体制を検討されることを期待いたします。	いただいたご意見は今後計画の取組を進めるうえで参考とさせていただきます。	無
9	46	第4章「計画の基本理念と基本方針」 (1)基本理念	基本理念は、現存する文化財を知り、守り、活用することだと理解できます。さらにこのサイクルを活かして、現在の文化が次世代の文化財となる（創る）まで繋げていければと思います。つまり、知る・守る・活かす・創るというサイクルです。	「創る」は、第3次千葉市文化芸術振興計画の基本理念であり、「美術品や文化財の継承と魅力の発信」を基本目標としています。本計画とも連携する内容になりますので、いただいたご意見は今後本計画の取組を進めるうえで参考とさせていただきます。	無
10	46	第4章「計画の基本理念と基本方針」(2)基本方針②みんなで文化財を「活かす」(体制整備、連携、活用)	本文1段落目の考え方に賛同します。特に、デジタル技術で文化財の見せ方や、活用の仕方が大きく変化していく時代となりました。建物や地形などもデータをもとに立体的に表現できます、環境との調和もイメージとして共有することが可能になります。若い人達には、VRの世界で文化財を学ぶことも可能でしょう。古墳や城跡も立体的に視覚的に活用できると思います。たとえば、猪鼻城界隈の地形、大椎城の地形をVRで見て、現地で確認することになれば、理解がさらに進むと思います。攻めの文化財の創出や活用体制があっても良いと思いました。	いただいたご意見は今後計画の取組を進めるうえで参考とさせていただきます。	無
11	48	第5章「文化財の保存・活用に関する課題・取組み」 「千葉市の主な文化財の保存・活用の取組み」表	千葉市の主な文化財の保存・活用の取組みの表において、主な取組欄に横線が欠けている理由をご説明ください。	ご迷惑をおかけしております。市ホームページで公開しているデータを確認したところ、表示倍率の関係で横線が見えないようです。表示倍率を上げると横線が確認できました。	無

No.	頁数	項目	意見内容	意見内容に対する市の考え	修正の有無
12	50	第5章「文化財の保存・活用に関する課題・取組み」 「文化財の類型・種別ごとの把握状況」表	文化財の類型・種別ごとの把握状況の表における類型・種別欄も上記と同様です。	ご迷惑をおかけしております。市ホームページで公開しているデータを確認したところ、表示倍率の関係で横線が見えないようです。表示倍率を上げると横線が確認できました。	無
13	56	第6章「文化財の保存・活用に関する取組み」 取組31「文化財めぐりへのシェアサイクルの活用推進」について	市内のサイクルステーションではポート数が不足、または満車・0台など偏っている場所が多いため、適切なポート数にすること、および満車や0台になってしまわないように偏り対策をして頂きたいです。	関係各所と調整のうえ、本取組みに着手したいと考えております。ご意見ありがとうございます。	無
14	60	第7章「文化財の保存・活用の推進体制」 連携する多様な主体【行政】表	環境局資源循環部産業廃棄物指導課を入れていただきたいです。 御茶屋御殿など、インバウンド向けの史跡として今後有効に活用できる場所が残念な景観になっている。文化財周辺のヤード設置規制も含めて、対策をとっていただきたいです。	関係各課と有効な対策等について検討していきたいと考えております。ご意見ありがとうございます。	無
15	60	第7章「文化財の保存・活用の推進体制」 連携する多様な主体【行政】表	都市局建築部宅地課を入れていただきたいです。今後、開発行為が広がることによって、歴史的史跡の景観に大きな影響が出てくることが考えられる。開発規制も含めて、対策をとっていただきたいです。	関係各課と有効な対策等について検討していきたいと考えております。ご意見ありがとうございます。	無
16	64	巻末資料 「千葉市文化財保存活用協議会 委員名簿」表	千葉市文化財保存活用協議会 委員名簿においても、前記と同様に所属欄に横線（境界線）がない部分があります。他の表も同様です。	ご迷惑をおかけしております。市ホームページで公開しているデータを確認したところ、表示倍率の関係で横線が見えないようです。表示倍率を上げると横線が確認できました。	無
17	69	巻末資料 (3)市民講座アンケート結果	参加者の年齢層を見ると、高齢者が多いように思います。3回の開催日は火曜日で、2月11日の祝日を除き、平日です。若い年齢層の参加のしやすさも考えて休日開催も検討をお願いします。	市民講座は、令和5年2月の全3回をいずれも土曜日に実施しました。また、ワークショップは、令和5年12月と、令和6年1月の全2回をいずれも日曜日に実施しました。 今後、講座等を実施する際は、日時等を意識しつつ開催したいと思います。ご意見ありがとうございます。	無
18	—	全般	文化財の活用方法について、単に文化財を死蔵するのではなく、人々に楽しんでもらうためには、文化の発展の物語や、その文化が到達した絶頂期を示すことが重要です。例えば、火縄銃の射程距離の進化のように、数字だけでなく、その背景にある物語性や、時代の最も優れた技術が凝縮されたものにこそ面白みがあるので、文化財の保管や展示においては、単なる年代順の羅列ではなく、発展の流れや最高到達点を示す視点が求められると思います。	いただいたご意見は今後計画の取組を進めるうえで参考とさせていただきます。	無

No.	頁数	項目	意見内容	意見内容に対する市の考え	修正の有無
19	—	全般	区のシンボル、地域資源とされる花見川の歴史を多くの方に知っていただくことにより、“流れない川”ならではの花見川の新たな価値、魅力を感じ、堪能して頂きたいと思いました。	関係各課とも連携し、いただいたご意見は今後計画の取組を進めるうえで参考とさせていただきます。	無